

(科目コード : 8906520005CC)

【改訂】第15版(2017-03-21)

【科目】景観工学

【科目分類】専門科目 【選択・必修の別】選択 【学期・単位数】後期・1単位

【対象学科・専攻】環境都市 5年

【担当教員】鈴木 一史,宮里 直樹

【授業目標】

景観形成の必要性とその意義について学習し、土木技術者としての素養を高めることを目標とする。具体的な目標は次の通りである。

- 都市空間における景観上の問題・課題を指摘できる
- 都市計画における景観形成の枠組みが理解できる
- 人と暮らしにおける景観と環境の関わりについて理解できる
- 景観の改善に向けた対策を考えることができる

本講義では、都市計画の考え方、景観と環境の関わり方、近年の課題を踏まえた問題・課題、都市計画策定のための手法の基礎について幅広く修得する。

【教育方針・授業概要】

デザインするという観点から、景観とはどういうものか、そしてそれをどのように捉えていったら良いのかを、何気なく接している都市景観を対象に学習する。評価法をはじめ、未成熟な分野であるため、事例を基に学習する。総合演習ではディスカッションをもとに互いの意識の向上を図る。

【教科書・教材・参考書等】

参考書：風景学入門：中村良夫：中公新書：978-4121006509

教材：プリント

【メッセージ】

総合演習は各自が興味を持った身近な構造物・空間を対象に、景観設計を検討するものである。授業時間内でもテーマ設定および展開に関する質問を受け付けるが、授業時間外での努力を必要とする。

【事前に行う準備学習】

都市計画における前半部や環境工学、景観工学について復習をしておくことが望ましい。

【成績評価方法】

[後期]中間試験：40%、期末試験：40%、レポート：20%、レポート課題は、演習や報告書、プレゼンテーションなど

【本校の学習・教育目標】

- (C) 技術的問題解決のための専門分野の基本的知識を身に付ける
各学科における専門科目を学習することにより、技術的課題を理解し対応できる

【授業計画】(景観工学)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
第1回	ガイダンス	景観工学とは、景観の概念と捉え方		
第2回	景観の概念と捉え方	景観とは、景観把握モデル、3つのアプローチ		
第3回	景観の分析(1)	視覚的観点からのアプローチ		
第4回	景観の分析(2)	身体感覚的観点からのアプローチ		
第5回	景観の分析(3)	意味的観点からのアプローチ		
第6回	景観の予測と評価	景観の予測と評価、可視化、評価手法	レポート課題	
第7回	景観に関わる法制度	景観形成とは、景観の法制度、景観行政		
第8回	中間試験			
第9回	景観と環境(1)	人と自然との関わりによる事例紹介、景観と環境の関わり		
第10回	景観と環境(2)	原風景と生活景、農村・里山における、くらしと自然環境		
第11回	環境デザイン(1)	水辺環境、自然・環境の総合的な把握		
第12回	環境デザイン(2)	地域の独自性、保全価値を考える	レポート課題	
第13回	景観・環境の予測・評価	環境アセスメント、景観形成		
第14回	雨水排水のデザイン(1)	景観を考慮した下水・雨水の排除計画1		
第15回	雨水排水のデザイン(2)	景観を考慮した下水・雨水の排除計画2	レポート課題	